

本番を前に区役所で阿波おどりを披露

いよいよ明日と明後日の2日間、第61回「東京高円寺阿波おどり」(主催：NPO法人東京高円寺阿波おどり振興協会)が開催されます。本番を控えた25日、区役所玄関前では、「葵新連」のメンバーが軽快なお囃子と息の合った踊りを披露し、多くの見物客を魅了しました。

第61回高円寺阿波おどりは、明日26日と27日の2日間、午後5時から8時に開催されます。高円寺駅周辺の8つの演舞場で、2日間でのべ1万人の踊り手が登場し、観客も100万人が見込まれています。

その高円寺の阿波おどりが、25日午後0時30分、1日早く区役所で披露されました。軽快なお囃子が鳴り響くと、区役所来庁者や通行人、区職員など多くの観客が集まり、すぐに人だかりとなりました。それも当然で、高円寺阿波おどりは、昨年、大手旅行会社の調査で、日本で最も



も行きたいまつりで堂々の第一位に選ばれました。そのまつりを1日早く、しかも目の前で見られるのだから、こんなチャンスは逃せません。

踊りを披露したのは、高円寺の阿波おどりをけん引してきた蓮の一つ「葵新連(あおいしんれん)」です。メンバー30名ほどが、軽快な鉦や太鼓に合わせ、男おどりと女おどりを舞いました。およそ15分に渡る葵新連の息の合った演技が終わると、区役所前に集まった200人ほどの観客から、大きな拍手と歓声があがりました。

《第61回東京高円寺阿波おどり》

【日程】8月25日(土)・26日(日) 午後5時～午後8時

【会場】JR「高円寺駅」南北の商店街と高南通りを中心とした総延長約2kmのコースに8つの演舞場が設けられます。

【問い合わせ先】

NPO法人東京高円寺阿波おどり振興協会 TEL：3312-2728